

SUN サンライト LIGHT

冬号

VOL.
13

発行日 平成6年12月
発行所 筑波早稲田園 (本館定休日)
所在地 茨城県稲敷郡茨城町若生500
電話 0286-70-2890



秋らしさを感じることはないまま立冬を迎え、もう師走の儼ただしさに追われる頃となりました。

今年は夏の勢いがいつまでも続き、紅葉も例年より少し劣るといふ声が各地で聞かれました。念向寺の大銀杏も霊園のハナミズキの並木もいつもの年より遅く色が染まり心なしか鮮やかさも弱いような気がいたしました。メモリアルホール前の寒牡丹は例年より一ヶ月も早く咲き始めました。(一面の写真は11月中旬に咲いた寒牡丹「白華」です。)

早いものでもう今年も余すところわずかとなりました。皆様にはどんな一年でしたでしょうか。政治不信の高まりや、なかなか回復しない景気、雇用不安、特に新卒女子大生の就職難とか。年末のせいとか、どちらかというと、暗いことの多い一年だったかという気がいたします。そんな中でスポーツの世界ではセリーグやJリーグの白熱した優勝争いはしばし、暗いことも忘れさせてくれました。

筑波早稲田園のこの一年もお陰様をもちまして平穏な年でした。新たに百名近くのお客様にご契約をいただき、区画の方も少しずつ減がってまいりました。

この秋から始めさせていただきました「第二回紹介キャンペーン」もご協力賜りこの三ヶ月間に数件のお申込みを頂きました。心より御礼申し上げます。

さて、このところ霊園や墓地の話題がテレビ等のマスコミに取りあげられています。ご覧になられた方も多いかと存じます。その中で東京や周辺の墓地の価格の高さが強調されていました。女性評論家の話では2〜3㎡の平均で三百万円前後ということでした。番組では首都圏での建墓をあきらめ鳥根塚にお墓を求めた方が紹介されていました。こうした報道で首都圏のお墓は高くて狭いといったイメージが定着してしまふのではないかと心配です。筑波早稲田園では3㎡以上の区画を維持しております。ゆとりのある霊園を作る為にはこの広さは最低必要と考えているからです。さらに緑を保ち、花をたやさぬように気を配っております。

より良い霊園のために皆様からのご意見、ご要望を引き続きお寄せ下さるようお願い申し上げます。お気軽にお申しつけ下さい。

今年もあとわずかですが皆様にはご自愛のうえ、良いお年をお迎え下さるようお願い申し上げます。